



令和8年3月2日
日立市教育委員会スポーツ振興課

ひたちシーサイドマラソン2026の開催決定について（ご連絡）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

ひたちシーサイドマラソンの開催推進に格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、下記のとおり開催が決定いたしましたので、ご連絡させていただきます。つきましては、2026大会の概要資料を添付いたしますので、取材及び記事掲載について、御配慮くださいますようお願いいたします。

記

1 開催概要

- (1) 大会名 ひたちシーサイドマラソン2026
- (2) 日時 令和8年11月15日（日）午前10時スタート
- (3) 場所 日立市市民運動公園

2 添付資料

2026大会事業計画 等

以上

【問合せ】教育委員会スポーツ振興課（担当 下田・小川）
TEL 0294-22-3111（内線661）

【令和7年度事業報告】

- 1 大会名称 ひたちシーサイドマラソン2025
- 2 開催日 令和7年11月16日（日）
- 3 競技規則 2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則に準じる。
- 4 コース （公財）日本陸上競技連盟公認
 - (1) スタート：日立市市民運動公園西側市道（茨城県日立市東成沢町2丁目）
 - (2) フィニッシュ：日立市市民運動公園陸上競技場（茨城県日立市東成沢町2丁目）

5 参加状況

- (1) 参加申込及び完走者数等

	2025大会	2024大会	前年比
参加申込者数	4,731人	4,877人	△146人
出走数	4,212人	4,396人	△184人
出走率	89.0%	90.1%	△1.1%
完走者数	3,975人	3,671人	304人
完走率	94.4%	83.5%	10.9%

6 ボランティア・スタッフ等

- (1) 従事者数 約2,200人
- (2) 協力団体数 109団体、個人約90人

7 ランネット評価

得点：91.3点（2024大会：78.6点） ※ 2025年開催大会で全国2位（3,000人～7,000人の部）
 [ランナーの意見要約]

- (1) 「修行マラソン」と評されるほどのアップダウンの激しいコースが特徴だが、日立バイパスからの絶景や海沿いのコースが非常に気持ち良いとの意見が多数あった。
- (2) 第2回とは思えないほど運営体制も整っており、ランナーは走りに集中できる素晴らしい環境が用意されていた。特に、エイドステーションの充実ぶりや沿道からの温かい応援、ゲストランナーのホスピタリティが高い評価を受けている。

ランネットとは：全国のランニング大会の情報掲載やエントリーを行う日本最大級のランニングポータルサイトであり、参加者の率直な意見が反映されている。大会の強みや改善点を把握する重要な材料であるため、大会運営の参考指標として活用できる。

8 前回大会からの改善の結果

- (1) 気象状況への対応として、給水体制の強化（水・カップ等）及び体調不良者対策

ア 給水体制の強化

〔課題〕

前回大会においては、暑熱の影響により、給水不足や給水所の設置間隔に関する課題が見られた。

〔対応内容〕

給水資材（水・紙カップ等）を増やすとともに、各給水所への適正な配分を行い、給水所の設置間隔についても見直しを行った。

〔結果〕

給水や紙コップの不足は発生せず、適切な間隔で給水所を設置することにより、ランナーの十分な水分補給が促された。

イ かぶり水の新設

〔課題〕

高温下におけるランナーの体温上昇への対応が求められていた。

〔対応内容〕

給水の安定確保及び体温低下を目的に、コース上にかぶり水を新設した。

〔結果〕

全ての設置ポイントにおいて利用が確認され、暑熱対策として有効であることが認められた。

ウ リタイアポイントの新設

〔課題〕

体調不良等により走行継続が困難となるランナーへの対応体制の強化が必要であった。

〔対応内容〕

体調不良者が多く見られた地点に、新たにリタイアポイントを設置し、迅速な対応が可能な体制を整備した。

〔結果〕

体調不良者への対応が円滑に行われ、安全性の向上につながった。

エ 救護体制の強化

〔課題〕

気象条件や参加者の状況を踏まえ、救護体制や暑熱対策について、より一層の安全確保が求められた。

〔対応内容〕

医師、看護師に加え、市職員の保健師を追加、後半の救護所には消防職員（救命士）を増員し、救護体制の整備を行った。

〔結果〕

専門性と人員を強化したことで、初期対応力が向上し、体調不良者への迅速かつ適切な対応につながった。

(2) ランナー確保及び大会の認知度向上につなげる取組

ア ゲストランナーとの連携

〔課題〕

大会の魅力向上及び参加意欲の喚起が課題であった。

〔対応内容〕

女性や若年層への訴求を意識し、影響力のあるゲストランナーを招聘するとともに、SNS等を活用した情報発信を行った。

〔結果〕

大会への関心が高まり、ランナーからの注目度向上につながった。一方で女性増の課題は残った。

イ ふるさと納税の導入

〔課題〕

大会エントリー数の確保として、新たな参加促進策が求められていた。

〔対応内容〕

ふるさと納税を活用したエントリーとして、市内宿泊施設と出走権をセットにした返礼品を用意し、制度の周知を図った。

〔結果〕

新たな参加手段の一つとして定着しつつある。

ウ 参加賞等（Tシャツ、タオル）のデザイン公募

〔課題〕

大会認知度向上に向け、マラソン参加者以外の層にも関心を持ってもらう取組が求められていた。

〔対応内容〕

参加賞のデザインを公募し、広く作品募集を行うことで、大会に関わる機会の創出を図った。

〔結果〕

マラソン以外の層からの応募や反応が見られ、大会への関心拡大と認知度向上につながった。

エ ランニング教室の実施

〔課題〕

大会参加のハードルが高いと感じている層へのアプローチが必要であった。

〔対応内容〕

初心者や大会参加を検討している層を対象に、複数回のランニング教室を開催した。（計8回）

〔結果〕

延べ参加者数は約400人となり、大会参加への動機付けや継続的な運動習慣の形成につながった。また、ランニングの楽しさを伝えることや仲間づくりができた。

オ 学生によるおもてなしマップづくり

〔課題〕

地元大学生に日立市の事業を知ってもらうきっかけと、若者層による情報発信力の強化が必要であった。

〔対応内容〕

茨城キリスト教大学の学生により、日立市の魅力を発信する、オンラインマップを制作。コース沿線のランドマークや飲食店を取材し、店舗PRのほか、店主の応援メッセージを市ホームページに掲載した。

〔結果〕

学生の参画及び日立市の魅力を伝えることができた。

カ リセットマルシェの開催

〔課題〕

関わる人の裾野拡大とにぎわい創出が必要であった。

〔対応内容〕

地元事業者等と連携し、ランナー、応援する家族及びマラソンにあまり関心がない方も楽しめる「RE:SETマルシェ」を同時開催し、多くの方が来場できる機会を創出した。

〔結果〕

大会当日のにぎわいを創出するとともに、ランナー以外の方の来場も促進できた。

キ 子ども向け取組

〔課題〕

マラソン事業に子どもたちが関わる機会創出が課題であった。

〔対応内容〕

マラソン事業を子どもたちに伝える機会の一つとして、市内小学校の6年生を対象に応援うちわづくりを行った。

〔結果〕

マラソン事業への興味関心を高めることができた。

ク 地元特産品の活用

〔課題〕

日立市の魅力発信の強化が必要であった。

〔対応内容〕

エイドや賞品に地元特産品を活用した取組を実施し、大会を通じて市の魅力を発信した。

〔結果〕

地元事業者が大会に参画する機会が広がり、地域との一体感が高まった。

(3) 財源確保の取組（協賛金額等の見直し）

〔対応内容〕

安定した財源確保を目的に協賛金の下限額を5万円に設定（2024大会は20万円）するとともに、個人協賛を新設した。

〔結果〕

新たな企業等の参画が進み、協賛社数の増加を通じて大会運営に必要な財源確保につながった。

【協賛結果】

ア 企業等協賛 59社

- ・現金による協賛
- ・物品、サービス提供による協賛

〔提供品〕大会中継、記録映像作成等、大会運営車両の手配及びドライバーの協力、入賞者、完走賞品、給水・給食品等の無償又は値引き等

- ・募集期間：令和7年4月から8月末まで

イ 個人協賛 15人

- ・募集期間：令和7年8月から10月末まで

9 物販等の状況

(1) 出展・販売

大会会場内において、地元企業や関係団体による物販・サービス提供を実施した。

ア 協賛社による出展

運動公園内において、11社が出展し、前回大会（7社）から増加した。地元企業による飲食物や関連商品の販売、サービス提供が行われ、来場者やランナーの利便性向上と大会のにぎわい創出につながった。

イ ランナー向けサービスの提供

運動公園内において、ランナー向けのケアサービスや記念撮影、飲食提供等を実施し、完走後の満足度向上が図られた。

ウ 地元PRの実施

運動公園内及び日立駅前において、地元団体による物販やPRを行い、日立市の魅力発信の機会を創出した。

(2) その他の取組

ア 写真撮影、販売については、公式ホームページへのリンク掲載等により対応した。

イ 事前発送物への同封として、市PRチラシやおもてなしマップ等を配布し、大会前後を通じた情報発信を行った。

10 スケジュール

(1) 前日祭

大会前日に交流及び大会機運の醸成を目的として、前日祭を実施した。

ア 日 時 令和7年11月15日（土） 午後3時から午後4時30分まで

イ 会 場 ホテルテラスザスクエア日立

ウ 参加人数 98人

(2) スタート前セレモニー及び表彰式等

大会当日のスタート前セレモニー、表彰式及び応援パフォーマンスを実施し、大会の盛り上げ及び一体感の醸成を図った。

ア スタート前セレモニー

スタート付近において実施し、ランナーの士気向上を図った。

イ 表彰式

メイン会場内ステージにおいて、男女総合上位入賞者の表彰及び招待選手の紹介を行った。

ウ 応援パフォーマンス

チアダンスやストレッチ等のパフォーマンスを実施し、沿道及び会場のにぎわい創出につなげた。

11 主な大会広報実績

大会の認知度向上及び参加促進を目的として、各種媒体を活用した情報発信を行った。

(1) Web・SNS

公式ホームページや公式SNS（Instagram、Facebook等）において、継続的な情報発信及び有料広告配信を実施した。

(2) 市広報・公共施設

市報、デジタルサイネージ、庁舎内広告モニター等を活用し、市内外への周知を図った。

(3) 新聞・雑誌・放送媒体

新聞広告、雑誌掲載、ラジオ出演等を通じて、大会情報の拡散を行った。

(4) その他

イベントでのパンフレット配布や動画配信等、複数の手法を組み合わせた情報発信を実施した。

【令和8年度事業計画】

1 計画の基本的な考え方

2025大会の運営体制を基本としつつ、安全対策や参加者サービスの充実、市民参加の拡大を図り、「温かみのある大会」として実施する。

- (1) 温かみのある大会の継続
- (2) 市民参加の拡大と大会の一体感の醸成
- (3) 参加しやすい環境づくり

2 主な実施内容

- (1) 温かみのある大会の継続
 - ア 安全で円滑な大会運営
 - (ア) 給水資材は前回実績を踏まえ、適正量を準備
 - (イ) 気象条件に応じ、コース上にかぶり水を設置
 - (ウ) 医師・看護師等と連携した救護体制の確保
 - (エ) 警察・警備事業者と連携した警備体制の構築
 - イ 参加者輸送対策
 - (ア) 市役所本庁舎周辺及びメイン会場周辺を駐車場として確保
 - (イ) JR日立駅、市役所から無料シャトルバスを運行
 - ウ メイン会場の整備
 - (ア) 池の川さくらアリーナを開放し、屋内施設を活用
 - (イ) 手荷物預かり、更衣室、待機場所を集約して設置
- (2) 市民参加の拡大と大会の一体感の醸成
 - ア 沿道応援・おもてなしの充実
 - (ア) 太鼓、チアダンス等に加え、学校・地域団体の応援参加を募集
 - (イ) 応援グッズの作成
 - (ウ) エイドステーションで地域食材等の提供
 - (エ) リセットマルシェの開催
- (3) 参加しやすい環境づくり
 - ア 情報発信の充実
 - (ア) 多様な媒体を活用した情報発信
 - (イ) 有料広告・協賛企業・ボランティア等を通じた情報拡散
 - (ウ) 参加賞等のデザイン公募等による大会イメージの発信
 - イ 参加を後押しする取組
 - (ア) 【新】特典エントリーの導入
 - (イ) 【新】託児サービスの導入
 - (ウ) ランニング教室の実施
 - (エ) 【新】参加者向け前日祭の開催
 - (オ) ケーブルテレビによる大会中継

3 ゲスト・招待選手

- (1) ゲスト（予定）

本大会の盛り上げや大会参加者へのサービス向上を目的に、大会ゲストを招致する。

 - ア 高橋尚子（1972年5月6日生まれ／岐阜県出身）
 - イ 猫ひろし（1977年8月8日生まれ／千葉県出身）

ウ こわだ君（1997年4月19日生まれ／京都府出身）

エ まかラン（1996年5月26日生まれ／福井県出身）

- (2) 招待選手
調整中

4 ボランティアの募集

- (1) 募集期間 6月上旬から8月下旬まで
(2) 募集人数 約2,000人
(3) 募集方法 インターネットによる公募等
(4) 業務内容 メイン会場運営、救護、エイド、コース監察等

5 参加者への事前配布物

当日の参加者受付は行わず、必要な物品等を事前配布する。

[事前配布物（予定）]

- (1) 参加賞（大会オリジナルTシャツ）
(2) 大会プログラム
(3) 市内公共施設の利用優待券や地域ブランドの紹介パンフレット等
(4) 駐車券（利用希望者のみ）
(5) 協賛社のチラシ、サンプリング等

【今後のスケジュール】

期日		本大会	関連事業等
令和8年			
2月	24日(火)	令和7年度実行委員会開催	
4月	5日(日)	日立さくらロードレース会場PR	協賛受付開始 リセットマルシェ出展者募集
		先行エントリー開始	
	12日(日)	先行エントリー締切	
	13日(月)	通常エントリー開始	
5月	上旬		ランニング教室募集開始
6月	上旬	ふるさと納税エントリー開始	
		公募ボランティア募集開始	
7月			ランニング教室開始
8月	下旬	交通規制に係る周知・協力依頼	協賛受付締切 リセットマルシェ出展者募集締切
		公募ボランティア募集締切	
	31日(月)	通常エントリー締切	
		ふるさと納税エントリー締切	
9月			
10月	中旬	ボランティア・スタッフ説明会	協賛受付終了
11月	14日(土)	前日祭	
	15日(日)	ひたちシーサイドマラソン開催	
令和9年			
2月	中旬	令和8年度実行委員会開催	

以上